専門技能向上コースの概要

１．目的

公益社団法人日本義肢装具士協会では、現代の高度な医療に対応できる義肢装具士を育てるために、卒後年の１～３年間において、新人プログラムと一般プログラムが用意されており、ここでは義肢装具士としてのジェネラリティを身につけることになる。しかし、義肢装具士は、医学や工学などの幅広い知識と高度な専門知識を必要とする専門職であり、対象となる疾患よび患者は多様です。また臨床におけるメディカルスタッフとコミュニケーションをとるためのスキルも専門領域に応じて様々である。そのため、それぞれの専門分野における義肢装具士としての臨床能力を高めていくことが社会的にも求められている。この社会的にニーズに対応するための入口にあるのが「専門技能コース」となる。

２．内容（4 専門技能コース）

公益社団法人日本義肢装具士協会では、特に専門性の高い４つの領域（車椅子シーティング領域、フットケア足病領域、脳卒中領域、大腿義足領域）を「専門技能コース」と定めている。それぞれの分野の目的は以下となる。

（ア）脳卒中領域では急性期から生活期にわたり高度に展開される装具療法における臨床推論ができるようになる。また臨床推論から適切な装具設計が行える。

（イ）車椅子シーティング領域に関する高度な知識・技術を用いて、障害分野、介護分野における臨床課題を解決できる。

（ウ）循環器系の問題による足病に対する免荷を目的とした装具療法および装具の選択を適切に行える技術を身に付ける。またフットケア足病領域では 2019 年に厚労省医政局より、医師の過重労働軽減策として、医療関連職種に対してタスク・シフト/シェアを求める動きが起こり、それに伴い、義肢装具士も足病関連の免荷、爪切り、ベンチの研磨、断端管理を担うこととなったことから、これらの知識についても理解を深める。

（エ）義足分野において、特に大腿義足の採型、適合における技術は目覚ましく、最新の採型および適合技術を習得する。

専門技能向上員会委員長　大西忠輔